

地域に密着した医療を目指して

+
岩美病院
ニュース

問い合わせ先
岩美病院 事務局
☎73-1421

新職員紹介



臨床検査技師
多田ひろみ

四月より新規採用で働かせて頂いている、臨床検査技師の多田ひろみです。実家は香川県で、大学は鳥取の方へ通っていました。それ以来鳥取県に住むことができればという思いを抱いてきましたので、こうして岩美に就職の場を見つけてあげてくれると思います。まだまだ至らない点は多々ありますが、宜しくお願い致します。

大腸がん検診の

ススメ

かつては日本人には少なかつた大腸がんですが、遺伝も含め食の欧米化・加齢（特に40歳以上）・運動不足・飲酒・喫煙などが原因で年々増加傾向を示しており、平成20年度の厚生労働省の調査で患者数は約23万5000人、平成17年の同じ調査で21万4000人と報告されていたので、3年間で約2万人増加しています。男女別では男性が13万5000人、女性が10万1000人と男性の方が高い傾向にあり、数年後には胃がんや肺がんを追い抜いてトップになると予想されています。

このように多くの方が罹りやすい病気ですが、早期発見・早期治療での治癒率は高く、早期発見できた場合の5年生存率はほぼ100%といわれ、いかに早く発見するのが大切になってきます。しかし早期の大腸がんではほとんど自覚症状を感じることはなく、症状を感じてから病院で見つかる時には進行がんになっていることが多いです。そのため、早期の段階で見つけ治療するために定期的な検診を受けることが大切になります。また、便潜血検査を毎年受けることで大腸がんによる死亡が60%低くなることが厚生労働省から報告されています。



大腸がん検診に

ついて

大腸がん検診の一次検査として一般的によく用いられるのが便潜血検査になります。便潜血検査とは、便に血液が混入しているかどうかをチェックするもので、痔などのように肉眼的に出血を確認できるケースや、肉眼的に確認が困難な少量の出血を伴う大腸がんや炎症性の腸疾患などで陽性になります。

陽性になった場合、何らかの病気がある可能性がありますので、内視鏡検査などの精密検査を受けていただき病気の発見と治療になっていきます。

当院検査室においても大腸がんやポリープなどから出血した目に見えない微量な便中血液を検査しています。実施にあたっては、まず自宅で



専用の容器に少量の便を採取し病院へ持ってきていただき、その後検査室で測定させていただきます。検査時間は約10分で検査でき、特に決められた食事制限もなく、注射針を刺すような痛みもなく手軽に受けていただける検査となっています。

いつまでも元気な体と健康な生活を維持していくために、定期的な大腸がん検診等をおして検査を受けてみてください。

岩美病院 検査室